

九州減災コンソーシアムセミナー

～九州における大規模災害リスクを語る～

■日 時 : 令和6年3月26日(火) 14:00～16:30 (開場 13:15～)

■開催場所 : 福岡県教育会館 3F 第一会議室

■主 催 : 九州減災コンソーシアム

【参加機関 : 九州大学、九州電力(株)、NTTドコモ、KDDI、Q Tnet、西日本電信電話(株)ソフトバンク、西部ガス(株)、九州旅客鉄道(株)、福岡北九州高速道路公社、NEXCO西日本(株)国土地理院九州測量部、福岡管区気象台、九州地方整備局】

■プログラム

- 14:00 開会
- 14:05～ 講演 「九州減災コンソーシアムの歩み」 九州大学大学院教授 松田泰治
- 14:30～ 基調講演 「能登半島地震と熊本地震からわかってきた大地震の起こり方」
東北大学大学院教授 遠田晋次
- 15:10～ パネルディスカッション 「九州における大規模災害リスクを語る」
コーディネーター 九州大学大学院教授 三谷 泰浩
パネラー 5名
- 16:30 閉会



【プログラム】

【講演】14:05～



「九州減災コンソーシアムの歩み」

九州大学大学院 教授 松田 泰治(まつだ たいじ)

九州減災コンソーシアム立ち上げ時より参加。熊本地震における教訓を生かし、コンソーシアムでは先進事例や他事業主体での取り組みを知ることによって人間関係の資産(顔の見える関係)の構築と減災力の向上を期待している。

【基調講演】14:30～



「能登半島地震と熊本地震からわかってきた大地震の起こり方」

東北大学大学院 教授 遠田 晋次(とおだ しんじ)

マグニチュード7を超える内陸大地震は活断層の動きが原因です。その活断層は、日本列島に2千以上存在します。その活断層の分布を地形や地質調査から明らかにし将来の内陸大地震に役立てる研究を進めている。

【パネルディスカッション】15:10～

「テーマ:九州における大規模災害リスク」

近年、激甚化、頻発化する自然災害は、我々が想像する規模、頻度をはるかに超え、災害のリスクの高い九州地域においては、特に、災害リスクへの対応は、非常に厳しいものになっている。この顕在化する九州のリスクを語る。



九州大学大学院教授
三谷 泰浩
(みたに やすひろ)

コーディネーター

パネラー

○九州大学大学院
松田教授

○東北大学大学院
遠田教授



○大分大学
減災・復興デザイン教育
研究センター教授
鶴成 悦久
(つるなり よしひさ)



○横浜国立大学客員教授
九州産業大学教授
インフラ・ラボ代表取締役
松永 昭吾
(まつなが しょうご)



○国土交通省
九州地方整備局
統括防災官
今田 一典
(いまだ かずのり)

「九州減災コンソーシアムとは」

大規模災害発生時に、構成機関が互いに情報を共有し、被害の全容把握や各機関の応急復旧を連携して円滑に進める事を目的とし令和3年3月に設立した。

情報交換や意見交換を平常時から行い、互いに顔の見える関係を構築し連携を深めている。